

四半期報告書

(第55期第2四半期)

株式会社 **カーメイト**

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
3 【経営上の重要な契約等】	4
第3 【提出会社の状況】	5
1 【株式等の状況】	5
2 【役員の状況】	7
第4 【経理の状況】	8
1 【四半期連結財務諸表】	9
2 【その他】	20
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	21

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月13日

【四半期会計期間】 第55期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 株式会社カーメイト

【英訳名】 CAR MATE MFG. CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 徳田 勝

【本店の所在の場所】 東京都豊島区长崎五丁目33番11号

【電話番号】 03-5926-1211 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員 総務部長 奥村 英治

【最寄りの連絡場所】 東京都豊島区长崎五丁目33番11号

【電話番号】 03-5926-1211 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員 総務部長 奥村 英治

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第54期 第2四半期 連結累計期間	第55期 第2四半期 連結累計期間	第54期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	8,866,409	7,912,475	19,064,730
経常利益 (千円)	70,027	399,146	690,507
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益 (千円)	45,230	301,430	1,039,089
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	△72,887	276,960	807,993
純資産額 (千円)	10,905,074	11,907,677	11,715,412
総資産額 (千円)	21,361,407	18,571,316	18,586,068
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	6.17	42.73	144.49
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	51.1	64.1	63.0
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	△1,196,946	△589,308	599,267
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△1,325,923	△1,061,607	△282,974
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△724,910	△307,992	△867,623
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	5,775,909	6,460,288	8,421,555

回次	第54期 第2四半期 連結会計期間	第55期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.62	30.67

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、「車関連事業」セグメントに属していた、連結子会社、株式会社シーエスアールは、2019年9月に清算終了により連結の範囲より除外しております。

また、2018年12月に「介護関連事業」を営んでおりました連結子会社、株式会社オールライフメイトの全株式を売却したことに伴い、当社グループは「介護関連事業」から撤退しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績が向上し雇用・所得環境も改善するなど回復基調を示しております。他方、世界経済においては米国と中国との貿易摩擦により経済の下振れリスクの高まりなど先行きには不透明感があり、また、国内の個人消費においては節約志向が依然根強く当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況で推移しました。

このような状況下において、当社グループは引き続き、新製品の市場導入強化、新技術・新発想による安全・安心なモノづくり、新興国市場への積極的な展開による輸出の増加、新規チャネル・新規顧客の開拓、新ビジネスモデルへの取り組みなどに努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高はアウトドア・レジャー・スポーツ関連事業は減収となりましたが、車関連事業が増収となり、7,912,475千円(前年同四半期比10.8%減)となりました。

損益面につきましては、原価率の改善があり402,386千円の営業利益(前年同四半期比864.0%増)となりました。また、営業外損益では為替差益が減少しましたが支払手数料も減少したことなどにより経常利益は399,146千円(前年同四半期比470.0%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は301,430千円(前年同四半期比566.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①車関連事業

車関連事業につきましては、360度ドライブアクションレコーダー、運搬架台類、純正用品、タイヤチェーン等は増収となり、売上高は7,353,412千円(前年同四半期比14.5%増)となりました。損益面につきましては、原価率の改善及び売上高販管費比率の低下により、1,018,586千円の営業利益(前年同四半期比55.3%増)となりました。

②アウトドア・レジャー・スポーツ関連事業

アウトドア・レジャー・スポーツ関連事業につきましては、スノーボード関連製品は増収となりましたが、自転車関連商品は減収となり、売上高は559,062千円(前年同四半期比0.8%減)となりました。損益面につきましては、原価率の悪化により、営業損失は10,324千円(前年同四半期は5,143千円の営業損失)となりました。

なお、介護関連事業につきましては、事業を営んでおりました株式会社オールライフメイトの全株式を2018年12月に譲渡しております。これに伴い当社グループの事業セグメントは車関連事業とアウトドア・レジャー・スポーツ関連事業となりました。

財政状態は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ42,863千円減少の15,238,210千円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金は620,845千円、製品は416,057千円増加しましたが、現金及び預金が1,305,484千円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ28,111千円増加の3,333,105千円となりました。この主な要因は、投資その他の資産のその他が53,618千円減少しましたが、投資有価証券が83,343千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ14,751千円減少の18,571,316千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ10,086千円増加の4,028,763千円となりました。この主な要因は、未払法人税等が202,342千円、製品保証引当金が134,549千円減少しましたが、支払手形及び買掛金は388,664千円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ217,102千円減少の2,634,875千円となりました。この主な要因は、社債が200,000千円、役員退職慰労引当金が16,740千円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ207,016千円減少の6,663,639千円となりました。

なお、有利子負債残高は215,000千円減少の1,565,000千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ192,264千円増加の11,907,677千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が216,181千円増加したことなどによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結累計期間末に比べ684,379千円増加し、当第2四半期連結累計期間末には6,460,288千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を399,741千円計上し、売上債権の増加、たな卸資産の増加、仕入債務の増加などがあり、589,308千円の現金及び現金同等物の減少(前年同四半期は1,196,946千円の現金及び現金同等物の減少)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出、有形固定資産の取得による支出等により、1,061,607千円の現金及び現金同等物の減少(前年同四半期は1,325,923千円の現金及び現金同等物の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還による支出、配当金の支払額等があり307,992千円の現金及び現金同等物の減少(前年同四半期は724,910千円の現金及び現金同等物の減少)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は809,005千円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,933,400
計	19,933,400

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,928,885	7,928,885	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は 100株であります。
計	7,928,885	7,928,885	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日	—	7,928,885	—	1,637,706	—	2,422,246

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
有限会社エム・テイ興産	東京都新宿区西落合3-20-17	2,436	34.54
村田 志実江	東京都新宿区	614	8.71
村田 隆昭	東京都新宿区	538	7.64
THE BANK OF NEW YORK, NON-TREATY JASDEC ACCOUNT (常任代理人株式会社三菱UFJ銀行)	225 LIBERTY STREET, NEW YORK, NEW YORK 10286, USA (東京都千代田区丸の内2-7-1)	502	7.12
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1-5-5	325	4.62
カーメイト従業員持株会	東京都豊島区長崎5-33-11	218	3.10
徳田 博子	東京都練馬区	140	2.00
赤羽 斉子	東京都新宿区	127	1.81
松本 猛	東京都杉並区	116	1.65
新和産業株式会社	神奈川県相模原市緑区西橋本2-14-3	70	1.00
計	—	5,091	72.17

(注) 当社は、自己株式を874千株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 874,700	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,049,700	70,497	—
単元未満株式	普通株式 4,485	—	単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,928,885	—	—
総株主の議決権	—	70,497	—

(注) 単元未満株式には、自己保有の単元未満株式が7株含まれております。

② 【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の 氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社カーメイト	東京都豊島区长崎5-33-11	874,700	—	874,700	11.03
計	—	874,700	—	874,700	11.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,220,025	7,914,540
受取手形及び売掛金	※1 2,163,008	2,783,854
製品	2,669,324	3,085,382
仕掛品	471,517	553,577
原材料及び貯蔵品	454,853	518,662
その他	307,118	386,783
貸倒引当金	△4,773	△4,590
流動資産合計	15,281,074	15,238,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	253,301	244,247
機械装置及び運搬具（純額）	110,752	100,989
工具、器具及び備品（純額）	334,410	316,799
土地	480,808	480,808
使用権資産	—	18,162
建設仮勘定	1,152	1,656
有形固定資産合計	1,180,426	1,162,664
無形固定資産	162,099	178,247
投資その他の資産		
投資有価証券	1,233,776	1,317,120
その他	728,691	675,073
投資その他の資産合計	1,962,468	1,992,193
固定資産合計	3,304,993	3,333,105
資産合計	18,586,068	18,571,316

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,168,907	2,557,571
1年内償還予定の社債	430,000	415,000
未払法人税等	257,396	55,054
賞与引当金	290,220	234,570
返品調整引当金	135,800	147,300
製品保証引当金	211,438	76,888
その他	524,914	542,378
流動負債合計	4,018,677	4,028,763
固定負債		
社債	1,350,000	1,150,000
退職給付に係る負債	723,708	724,242
役員退職慰労引当金	616,609	599,869
その他	161,660	160,764
固定負債合計	2,851,978	2,634,875
負債合計	6,870,655	6,663,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,637,706	1,637,706
資本剰余金	2,422,246	2,422,246
利益剰余金	7,667,503	7,883,684
自己株式	△764,134	△764,179
株主資本合計	10,963,321	11,179,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	591,947	635,960
土地再評価差額金	△196,648	△196,050
為替換算調整勘定	356,792	288,310
その他の包括利益累計額合計	752,090	728,219
純資産合計	11,715,412	11,907,677
負債純資産合計	18,586,068	18,571,316

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	※2 8,866,409	※2 7,912,475
売上原価	※2 5,953,790	※2 4,700,523
売上総利益	2,912,619	3,211,951
販売費及び一般管理費	※1、※2 2,870,880	※1、※2 2,809,565
営業利益	41,739	402,386
営業外収益		
受取利息	35,139	19,226
受取配当金	16,164	17,122
為替差益	50,044	—
その他	4,396	8,811
営業外収益合計	105,745	45,160
営業外費用		
支払利息	4,320	2,130
売上割引	19,826	21,414
為替差損	—	4,998
支払手数料	53,090	19,300
その他	220	555
営業外費用合計	77,457	48,400
経常利益	70,027	399,146
特別利益		
固定資産売却益	—	1,056
特別利益合計	—	1,056
特別損失		
固定資産除却損	3	460
固定資産売却損	504	—
特別損失合計	507	460
税金等調整前四半期純利益	69,520	399,741
法人税、住民税及び事業税	34,990	35,864
法人税等調整額	△10,700	62,447
法人税等合計	24,289	98,311
四半期純利益	45,230	301,430
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,230	301,430

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	45,230	301,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,690	44,013
為替換算調整勘定	△89,426	△68,482
その他の包括利益合計	△118,117	△24,469
四半期包括利益	△72,887	276,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△72,887	276,960
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	69,520	399,741
減価償却費	197,397	215,920
固定資産売却損益 (△は益)	504	△1,056
固定資産除却損	3	460
為替差損益 (△は益)	△6,201	1,333
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△99,529	△55,650
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△28,400	11,500
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△472	△134,549
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	23,900	534
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	42,138	△16,740
受取利息及び受取配当金	△51,304	△36,349
支払利息	4,320	2,130
売上債権の増減額 (△は増加)	△285,441	△633,927
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△713,411	△589,760
仕入債務の増減額 (△は減少)	326,405	554,710
その他の資産・負債の増減額	△457,224	△111,651
その他	5,126	—
小計	△972,673	△393,367
利息及び配当金の受取額	35,467	31,999
利息の支払額	△5,788	△3,687
法人税等の支払額	△253,952	△224,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,196,946	△589,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,912,085	△1,908,478
定期預金の払戻による収入	755,321	1,207,567
有形固定資産の取得による支出	△174,427	△286,164
有形固定資産の売却による収入	2,740	2,363
投資有価証券の取得による支出	△5,570	△20,476
貸付けによる支出	—	△20,000
貸付金の回収による収入	18,652	175
その他	△10,555	△36,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,325,923	△1,061,607
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△50,709	—
社債の発行による収入	294,873	—
社債の償還による支出	△271,625	△215,000
自己株式の取得による支出	△606,159	△46
配当金の支払額	△91,289	△84,509
リース債務の返済による支出	—	△8,436
財務活動によるキャッシュ・フロー	△724,910	△307,992
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,833	△2,358
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,267,614	△1,961,266
現金及び現金同等物の期首残高	9,043,523	8,421,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 5,775,909	※1 6,460,288

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

従来、連結子会社であった株式会社シーエスアールは2019年9月に清算終了したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲より除外しております。

(会計方針の変更等)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
(会計方針の変更) 国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。 この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産の使用権資産が18,162千円増加し、流動負債のその他が13,595千円及び固定負債のその他が4,707千円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、営業活動によるキャッシュ・フローの支出が8,436千円減少し、財務活動によるキャッシュ・フローの支出が8,436千円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
(税金費用の計算) 一部の子会社において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 期末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	211,230千円	一千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
運送料	272,800千円	276,174千円
広告宣伝費	118,857 "	99,353 "
給料手当	770,599 "	707,358 "
賞与引当金繰入額	106,033 "	107,731 "
退職給付費用	25,247 "	52,188 "
役員退職慰労引当金繰入額	42,138 "	13,328 "
減価償却費	31,958 "	34,329 "
研究開発費	759,196 "	802,670 "

※2 当社グループの事業は、冬季製品（スキーキャリア・タイヤ滑止等）の占める割合が高いため、連結会計年度の第3四半期の割合が高くなる傾向があり、また、冬季の降雪量の多寡により業績に影響を受けることがあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金	7,312,608千円	7,914,540千円
計	7,312,608千円	7,914,540千円
預入期間が3ヶ月を超える 定期預金残高	△1,536,698 "	△1,454,252 "
現金及び現金同等物	5,775,909千円	6,460,288千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	91,191	12	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月31日 取締役会	普通株式	70,542	10	2018年9月30日	2018年12月3日	利益剰余金

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2018年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式545,100株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が580,531千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が764,134千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	84,650	12	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月31日 取締役会	普通株式	70,541	10	2019年9月30日	2019年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	車関連事業	アウトドア・ レジャー・スポーツ 関連事業	介護関連事業	
売上高				
外部顧客への売上高	6,424,857	563,750	1,877,801	8,866,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	6,424,857	563,750	1,877,801	8,866,409
セグメント利益又は セグメント損失(△)	655,921	△5,143	83,735	734,514

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	734,514
全社費用(注)	△692,775
四半期連結損益計算書の営業利益	41,739

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	車関連事業	アウトドア・ レジャー・スポーツ 関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	7,353,412	559,062	7,912,475
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	7,353,412	559,062	7,912,475
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,018,586	△10,324	1,008,261

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,008,261
全社費用(注)	△605,875
四半期連結損益計算書の営業利益	402,386

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

2018年12月に「介護関連事業」を営んでおりました連結子会社、株式会社オールライフメイトの全株式を売却したことに伴い、当社グループは「介護関連事業」から撤退しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	6.17円	42.73円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額	45,230千円	301,430千円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額	45,230千円	301,430千円
普通株式の期中平均株式数	7,331千株	7,054千株

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第55期(2019年4月1日から2020年3月31日)中間配当については、2019年10月31日開催の取締役会において、2019年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

①配当金の総額	70,541千円
②1株当たりの金額	10円00銭
③支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年12月2日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

株式会社カーメイト
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 若 尾 慎 一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田 中 淳 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カーメイトの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カーメイト及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月13日
【会社名】	株式会社カーメイト
【英訳名】	CAR MATE MFG. CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 徳田 勝
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	東京都豊島区长崎五丁目33番11号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長執行役員徳田勝は、当社の第55期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。

